

**「みやぎ地域価値協創ファンド」による有限会社穂乃香への投資について
～資本性劣後ローンを活用して地域の介護事業者の財務基盤強化を支援します～**

株式会社七十七銀行（頭取 小林 英文）は、株式会社日本政策投資銀行（社長 渡辺 一）と共同出資する「みやぎ地域価値協創ファンド（以下、「本ファンド」といいます。）」の第9号案件として、有限会社穂乃香（本社 宮城県遠田郡美里町、社長 大友 新）への投資を実行いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

本ファンドは、地域の企業および地域の活性化に資する事業を行う企業の事業基盤の拡大・成長および改善・強化を支援するため、2018年9月に設立されたものです。

当行では、今後とも本ファンド等を活用し、企業と地域経済の更なる発展に向けて積極的に成長資金の供給等に取り組んでまいります。

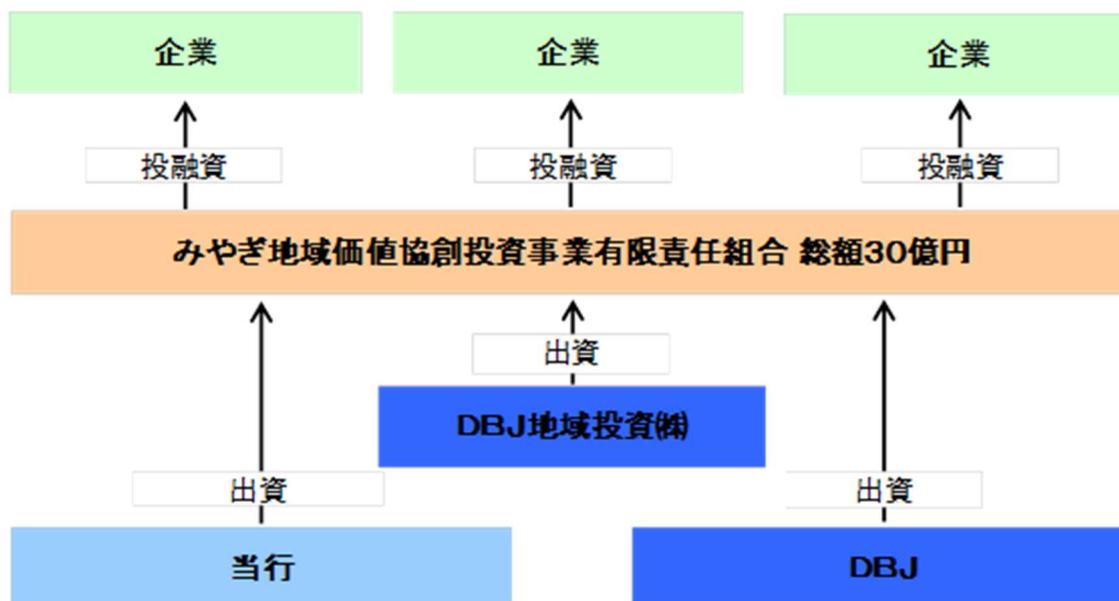
記

1. 有限会社穂乃香は、宮城県の大崎地域において、介護付有料老人ホーム、障がい者グループホームおよび企業主導型保育園等を運営する介護事業者であり、高齢者人口の増加による介護施設の不足等が課題となっているなかで、地域における介護サービスの中核的な担い手となっています。
2. 当社は、住まい・医療・介護・予防・生活支援が一体的に提供される地域包括ケアシステムの構築に向けて、介護と医療が連携した地域密着型サービスである「定期巡回・随時対応型訪問介護看護」（※）の事業を新たに開始しました。また、当社は新規事業の一環として、住宅型有料老人ホームを新たに建設予定です。

※定期巡回訪問または随時通報を受けて、大崎市在住の利用者（要介護者）の居宅を介護福祉士等が訪問し、入浴・排せつ・食事等の介護、調理・洗濯・掃除等の家事等を行うとともに、看護師等による療養上の世話や診療の補助を行うもの。

3. 本件は、大型設備投資を予定している当社に対して、新規事業にかかる運転資金として資本性劣後ローンを供給することにより、当社の財務基盤の強化を支援するものです。

【本ファンドのスキーム図】



(関連するSDGs)



「SDGs実践計画」を一昨日公表しました！

当行では、SDGsに対する取組みを更に強化するため「七十七グループのSDGs宣言」に基づき、新たに「SDGs実践計画」を策定しました。

実践計画の詳細はこちらへ

<https://www.77bank.co.jp/sustainability/sdgs2021.html>

以上